

ユニット盤・技術資料

誘導電動機に対する機器選定

分岐回路の電動機に対する各機器の選定 (200V三相誘導電動機)

	電動機負荷		分岐スイッチ	サーマルリレー	超過目盛電流計	負荷端子台	コンデンサ (μF)								
	起動	容量 (kW)					MCB ELB	可調整範囲 (A)	トップランナー モータ以外		電動機極数				
									2極		4極		6極		
			50Hz	60Hz					50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
	直入 起動	0.2	15	0.95-1.45	3A	20A	15	10	—	—	—	—	—	—	
		0.4		1.7-2.6	5A		20	15	—	—	—	—	—	—	
		0.75		2.8-4.2	10A		—	—	30	20	40	30	50	30	
		1.5	30	5-8	10A		—	—	40	30	75	40	100	50	
		2.2	40	7-11	15A		—	—	50	40	100	50	100	75	
		3.7	60	12-18	20A		—	—	75	50	150	75	150	100	
		5.5	75	18-26	30A		30A	—	—	100	75	200	100	300	150
		7.5	125	24-36	CT付 40/5A		50A	—	—	150	100	250	150	300	200
		11		34-50	CT付 60/5A		—	—	200	150	300	200	500	300	
		15		45-65	CT付 100/5A		75A	—	—	250	150	400	250	500	300
スター デルタ 起動	5.5	60	18-26	30A	30A	—	—	100	75	200	100	300	150		
	7.5	75	24-36	CT付 40/5A	50A	—	—	150	100	250	150	300	200		
	11	125	34-50	CT付 60/5A	—	—	200	150	300	200	500	300			
	15	150	45-65	CT付 100/5A	75A	—	—	250	150	400	250	500	300		
	18.5	175	53-80		100A	—	—	300	200	500	300	700	400		
	22	200	65-95		—	—	300	250	800	400	800	400			
	30	300	85-125	CT付 150/5A	150A	—	—	500	300	900	500	1200	500		
37	350	110-160	CT付 200/5A	250A	—	—	600	400	1200	700	1300	750			

- ご注意**
- 電動機負荷に対する遮断器(分岐スイッチ)、コンデンサの選定は内線規程JEAC8001 2016(3705-1表 資料3-3-3)によるトップランナーモータ基準の選定となります。
 - トップランナーモータ以外の選定は、適合しない場合がありますのでご注意ください。また、コンデンサの選定は、モータの極数により異なりますのでご注意ください。
 - コンデンサ容量が小さい場合、電力料金割引のメリットが得られなくなります。
 - コンデンサ容量が大きい場合、端末電圧が異常に高くなり、機器故障や事故に繋がる可能性があります。
 - トップランナーモータの詳細につきましては904・905頁をご参照ください。
 - サーマルリレーは富士電機株式会社製を使用しています。他メーカー製サーマルリレーを搭載する場合は個別対応にて承ります。トップランナーモータなど、電動機の特性によってはサーマルリレーが誤動作する可能性がありますのでご注意ください。

電動機回路幹線ブレーカの選定につきましては、905 頁をご参照ください。

標準分電盤
プラグイン
協約形
電灯・動力
小型高性能
電灯
幹線分岐盤
ねじタイプ
分電盤
開閉器盤
引込計器盤
SF6D盤
個別対応品
太陽光発電用
(産業用)
独立電源
システム
特定用途別
分電盤
組替仕様
オブション
技術資料